

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人

猪名川町社会福祉協議会

目 次

I	総括	1 ページ
II	諸活動報告	
1	地域福祉活動	2～3 ページ
2	ボランティア活動	4～7 ページ
3	生活支援サービス活動	7 ページ
4	児童家庭福祉（エンゼル）活動	7～8 ページ
5	障害者福祉活動	8～15 ページ
6	高齢者福祉活動	16～25 ページ
7	福祉学習（教育）啓発活動	25～30 ページ
8	調査・情報活動	30～31 ページ
9	組織基盤づくり活動	31～34 ページ
10	団体支援活動	34 ページ
11	町指定管理事業	35～36 ページ
12	諸会議	36～39 ページ
III	役員の状況	40 ページ

令和元年度 猪名川町社会福祉協議会 事業報告

I 総括

少子高齢化の進行、ライフスタイルの多様化、情報化社会の進展など社会は目まぐるしく変化しています。地域や家庭においても、つながりの希薄化によって地域・福祉への関心の低下がみられることから、不安や悩みを一人で抱え込んでしまい、本当は支援が必要なケースであるのに、それが潜在化してしまうといった懸念があります。

このような中「支え手側」「受け手側」に分かれるのではなく全ての地域住民が役割を持ち、生き生きと活躍できる「地域共生社会」の実現が喫緊の課題となっています。その実現にあたっては地域福祉の推進が必要不可欠となります。

当社協においては、「みんなで作る安心して暮らせるまちづくり」を福祉目標に、令和2年度から令和6年度までの5か年にわたる第7次猪名川町地域福祉推進計画を策定しました。「人の輪づくり」「きっかけづくり」「情報の発信と受信」「社協づくり」の4つの推進目標を掲げ、今後社協の機能を十分に発揮し「地域共生社会」の実現に努めていきます。

地域福祉活動においては、引き続きふれあい・いきいきサロンの開設や継続、健康長寿体操教室、脳の健康教室などの居場所や身体・認知機能両面から健康維持を図る機会づくりへの支援を図りました。併せてボランティア活動センターでもボランティア養成講座や福祉学習を通じての「きっかけづくり」、地域の担い手育成に努めました。

一方、地域包括支援センターや障害者相談支援センター、日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付事業、成年後見制度など幅広い相談ケースに対応しながら関係機関、専門機関、民生委員・児童委員、行政などと連携を図りつつ課題解決に向け相談支援を行いました。

また、自主事業では障害者多機能型事業所「希望の家すばる」において、人材確保・研修等による効果もあり利用者数・収入額とも対前年度と比べ大きく増加しました。介護保険事業において、通所介護事業では、介護予防を目的とした支援、訪問介護事業では、生活援助を中心に可能な限り利用者支援に努めました。

しかし、令和2年2月以降に発生した、新型コロナウイルスの感染拡大の防止の観点から当社協も軒並み各種教室やイベント、サロン、会議等中止が相次ぎ、当初予定・計画していた事業が進まない状況となりました。

法人全体の事業収支では、令和元年度は収入総額 433,495,057 円（対前年度比 103.8%）、支出総額 427,263,935 円（対前年度 103.6%）となり、収支差額 6,231,122 円（対前年度 115.4%）の黒字となりました。

以下、ここに令和元年度における本協議会の諸活動についてご報告致します。

II 諸活動報告

1 地域福祉活動

(1) 小地域福祉（福祉委員）活動

福祉委員制度は、各地域での福祉活動推進のために設置されており、福祉委員活動の支援や連携を取りながら、地域のつながりづくりや地域ニーズの把握に努めました。

①福祉委員会全体会及び役員会の開催（全体会2回、役員会3回）

全体会として福祉委員の役割についての講座や福祉に関する講演会を実施し、役員会では、全体で実施する活動についての協議などを行いました。

②猪名川町 SOS ネットワークの協力

地域での見守り体制の構築に向けて、地域の関係団体等と協議を行いました。

③校区福祉委員活動として認知症サポーター養成講座を実施

認知症の方への理解を深めるために、養成講座や行方不明者捜索訓練を実施しました。

④民生委員・児童委員と連携し、地域の見守り等の実施

定期的に地区・校区で交流会を実施し、顔の見える関係づくりに努めました。

⑤健康福祉まつりへの参加・活動PR

地域での居場所づくりの手法についての紹介や、舞台での活動PRを行いました。

⑥社協事業等への参加

社協会員会費や赤い羽根共同募金運動などにおいて、募金の依頼などを行いました。

校区・地区ごとの主な活動内容

地区（校区）	主な活動内容
内馬場・伏見台地区	お花見会（民生委員・児童委員と共催）、映画会（年5回）、歌声サロン（月1回）、グラウンドゴルフ、チェアトレ等
原・松尾台地区	ふれあいひろば（年2回）、夏祭りお手伝い、住民運動会お手伝い、自治会・民生委員・児童委員・地域包括との交流会等
阿古谷地区	ふれあい交流会（夏祭り、地域合同運動会、秋祭り、カラオケ教室、餅つき、グラウンドゴルフ、健康講座等）、サロン活動等
猪名川小校区	「若葉いこいの家」の運営ボランティア、健康教室（チェアトレとサロン）、むつみ会活動支援、サマーフェスタ、秋祭り、初釜等
つつじが丘小校区	夏祭り、住民運動会、ふれあいサロン、サロン活動、うたごえ喫茶、写経等、カフェサンテ（お花見、そば打ち道場、コンサート等）
白金小校区	ほっとサロン絆（月1回）、土曜サロン（隔月1回）、研修会（施設見学）、校区民生委員との交流会、SOSネットワーク徘徊訓練等
楊津小校区	グラウンドゴルフ大会、夏祭り、校区定例会、民生委員・児童委員との連携・交流会及び合同研修会、地区ごとの活動等
大島小校区	各地区でのサロン活動（年1回、月1～4回）や戸別訪問、校区行事手伝い、民生委員・児童委員との連携・交流会等

(2) ふれあい弁当サービス

ひとり暮らし高齢者及び高齢者夫婦世帯等を対象に、安否確認や食生活充実を目的として、毎週水曜日に昼食（利用料金は1食500円）を配食しました。

本年度の新規利用者数は増加しましたが、体調不良や入院等も重なり、実績としては昨年度より減少しました。毎月1回のお便り「お弁当だより（翌月の献立表も掲載）」の発行や

利用者を対象にしたアンケートでは、「とても美味しかったので、(事業) 継続して欲しい」との意見が多数ありました。

月別配食実績表

(単位：食)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和元年度	128	124	121	158	96	122	153	125	126	131	117	58	1,459
1回あたりの平均配食数	32	31	30	31	32	31	30	31	31	32	29	29	31
平成30年度	134	182	138	136	125	134	168	130	128	133	136	134	1,678
1回あたりの平均配食数	33	36	33	33	31	33	33	32	32	33	34	34	33

(3) 日常生活自立支援事業

判断能力が十分でない方(認知症高齢者・知的障がい者など)が安心して、暮らしていけるよう福祉サービスの利用援助や日常生活の金銭管理等、自立生活への支援を行いました。事業活動については、年1回、社協だよりにてPR啓発を行いました。相談延べ件数が4件、生活支援員による支援業務については、平成28年11月から関わった生活保護受給者1件が成年後見制度の申請に至り、令和2年1月に保佐人に引き継ぎ終了。令和2年2月より新たに生活保護受給者1件の支援が始まっています。

(4) 福祉相談マネジメント活動事業

生活福祉資金の貸付事業と自立相談支援事業との関係強化に取り組みました。各種相談事業や民生委員・児童委員、地域関係者との連携を図りながら生活困窮者に対して包括的支援ネットワークづくりに取り組みました。

①生活福祉資金の相談・貸付

新規貸付2件でしたが、3月23日の新型コロナウイルス特例貸付の説明会后より、特例貸付の受付・相談業務が主となり、特例貸付1件。フードバンク支援が3件、引越し支援1件となりました。尚、3月18日「ひきこもり支援講演会」(秋田県藤里町社協・菊池氏)は新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため中止しました。

②自立支援に向けて関係機関との連携

貸付に至らないケースはワーカーズコープ、県民局、民生委員・児童委員、福祉課などと随時連携。ワーカーズコープ主催の連携会議への出席。資金貸付に至るケースは少なく、県民局やワーカーズコープとの連携が必要なケースは増加。担当職員が経験を積みにくい状況でもあり、1件1件のケースを共有することでスキルアップを目指していきます。

③心配ごと相談

民生委員児童委員協議会に委託して実施しており、総合福祉センター、ふらっと六瀬及び日生公民館において、原則月3回、火曜日の午前10時から12時まで民生委員・児童委員が輪番で相談を受けつけています。本年度の相談件数は3件でした。(平成30年度実績：4件)

2 ボランティア活動

ボランティア活動センターの運営事業

ボランティア活動の場の提供やコーディネート、情報提供等を通じ、より多くの住民がボランティア活動を通して地域社会の関わる「きっかけづくり」活動を進め、福祉向上を目的に実施しました。

①ボランティアに関する相談受付、コーディネート連絡調整

相談受付処理状況

(単位：件)

内容	ボランティア活動希望	ボランティアの依頼	人材に関する相談	資機材に関する相談	資金に関する相談	組織運営に関する相談	事業運営に関する相談	その他	令和元年度実績	平成30年度実績
一般住民	20	7 (6)	0	5	0	0	0	6	38	37
ボランティア・市民活動団体	9	3	7	22	20	2	9	62	134	74
福祉施設・病院	0	788 (1,067)	2	0	0	0	0	1	791	717
行政機関	0	22 (42)	1	11	1	0	0	8	43	33
社協	0	200 (1,766)	0	5	0	0	0	2	207	190
福祉団体	0	2	1	1	0	0	0	6	10	8
学校・教育機関	3 (20)	5 (2)	29	14	0	0	0	4	55	45
その他	0	10 (45)	0	0	0	0	0	1	11	12
合計	32	1,037	40	58	21	2	9	90	1,289	1,116

()の人数=相談・依頼に対して活動したボランティア人数

ボランティア活動延べ人数 2,948名 (平成30年度実績 2,228名)

ボランティア活動内容

一般住民	傾聴活動、活動や作業の手伝い、対面朗読、本の音訳等
福祉施設・病院	話相手(傾聴)、活動や作業の手伝い、行事手伝い、レクリエーションボランティア等
行政機関	講演会等での情報保障(手話通訳・要約筆記)、託児等
社協	ふれあい弁当サービスの調理及び配食、声の広報CD作り、「おもちゃ図書館」手作りおもちゃ作り、イベントの手伝い、福祉学習のお手伝い等
福祉団体	視覚障がい者に関する情報発信等
学校・教育機関	点字の学習、聴覚障害の学習、認知症サポーター養成講座、福祉講演会の講師の相談、福祉学習機材の貸し出し等

②ボランティアに関する情報提供・啓発

ア ボランティアの啓発

「健康福祉まつり」において、ボランティア活動のリーフレット配布・ボランティア募集チラシの配布、舞台PRなどを通じて、ボランティア活動の啓発を行いました。また、登録ボランティアグループがパネル展示や活動のPR、ボランティア体験等を実施しました。また、社協だよりに登録ボランティアグループの紹介を掲載しました。昨年度より、引き続きイオンモール猪名川店で、傾聴ボランティア「みみい〜な」による傾聴サロンを毎月第4月曜日に開催しました。また、学生ボランティアのイベントや災害ボランティア啓発イベントも積極的に実施しました。

健康福祉まつり参加ボランティアグループ及び啓発内容

	グループ名	内 容
1	音訳ボランティア「リヴィエール」	録音(音訳)体験・活動PR
2	手話サークル「マジック」	手話体験・活動PR
3	要約筆記「ゆきんこ」	要約筆記の体験・字幕付ききらっといながわ上映・活動PR
4	点訳ボランティア「てんてまり」	点字体験・活動PR
5	パソコンボランティア 「夢ネットいながわ」	パソコンを利用したオリジナルカード作り・活動PR
6	傾聴ボランティア「みみい〜な」	傾聴サロン・活動PR

イ 啓発用冊子等の作成・配布

ボランティアに関心のある方、初めて活動をする方に、わかりやすい啓発リーフレット「笑顔いっぱいボランティア活動」や、ボランティア・福祉学習の詳細を記載した啓発冊子「レッツトライボランティア」を配布。主に学校での福祉学習体験時に配布し、啓発に努めました。また、「ふれあい伝言板」を活用して情報発信に努めました。

(共同募金の地域配分金を活用しています)

③機材貸出

町内施設やボランティアグループなどへ、機材の貸出を行いました。聴覚障がい者が参加する講演会などには、ヒヤリンググループ、施設での職員研修などで使用する高齢者疑似体験セットなどの貸出を行いました。

④ボランティアグループ助成

住民の社会福祉活動への主体的な参加を促進し、ボランティア活動の育成、及び活性化を図ることを目的にボランティアグループに対して活動経費の一部を助成しています。登録ボランティアグループ8団体及び新規申請のあった1団体計9グループからの申請に基づき適正に助成金交付を行い、各グループが特性に応じた活動を住民に実施されました。

⑤兵庫県ボランティア・市民活動共済

本年度の件数は137件、加入者数は1,423名でした。(平成30年度144件・1,461名)その内、「天災危険補償プラン」の取扱い件数は、学校支援ボランティア団体が加入されたた

め、13件、加入者数は483名となりました。

⑥ ボランティア活動センター運営委員会・ボランティアグループ連絡会

ア 猪名川町ボランティア活動センター運営委員会

ボランティア活動センターの円滑な運営を図るために、運営委員会を設け5名の委員(ボランティア関係・福祉委員・当事者団体・関係行政機関・社協理事)で構成。ボランティア活動センターの事業について協議しました。

イ ボランティアグループ連絡会

社協登録ボランティアグループの代表者により、ボランティア活動に関する連絡調整・助成金申請に係る説明を行いました。第2回目は、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため中止しました。

⑦ 災害ボランティア活動センター運営

災害ボランティア活動センター運営マニュアル(案)に基づき、マニュアルを検証するため災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため中止しました。

⑧ ボランティア養成講座

「第6次地域福祉推進計画」に基づき、住民が参加しやすい講座の開催を目指しました。「災害ボランティア養成講座」をはじめ、開催日時を設定を工夫し、町内事業所へポスターやチラシを配布・いなぼうネットの掲載などPR・啓発を行いました。また、講座の様子を社協だよりに掲載するなど地域住民に興味を持って参加できるボランティア講座の企画に努めボランティア活動の担い手の育成に努めました。

	講座名	開催日 (期間)	開催場所	講師名	参加者数 (30年度実績)
1	サマーボランティアスクール2019	7月20日(土)～8月31日(土)	総合福祉(ゆうあい)センター等	各施設職員等	43名・延べ119名 (22名・48名)
2	手話ボランティア養成講座(後期)	6月5日～11月20日 毎週水曜日 計24回	総合福祉(ゆうあい)センター	・町ろうあ協会 ・手話サークル マジック	12名・延べ218名 (14名・217名)
3	災害ボランティア養成講座	12月14日(土)	総合福祉(ゆうあい)センター	夢かぜ基金 事務局長 八幡 隆司氏	27名 (36名)
4	災害登録ボランティア交流会	6月28日(金) 2月8日(土)	総合福祉(ゆうあい)センター イオンモール猪名川店	猪名川町危機管理室 内田氏・月岡氏 災害ボランティア啓発イベント	14名 24名 (30名)
5	点訳ボランティア養成講座	6月5日～11月6日 隔週水曜日 計12回	総合福祉(ゆうあい)センター	フリーランス 視覚障がい者 歩行訓練士 武内 清氏	16名・延べ108名+当事者3名

	講座名	開催日 (期間)	開催場所	講師名	参加者数 (30年度実績)
6	要約筆記啓発講座	10月3日・10日・17日・24日 毎木曜日 計4回	総合福祉(ゆうあい)センター	・兵庫県難聴者福祉協会 理事長 増田雅博氏 ・認定補聴器専門技能士 中川 良雄氏 ・県立神戸聴覚特別支援学校 柳瀬 尚子氏 ・要約筆記「ゆきんこ」 ・猪名川中途失聴・難聴者の会 有本 富美恵氏	39名・延べ101名 (19名・延べ72名)
7	ボランティアきっかけ講座	1月14日・21日・28日 毎火曜日 (計3回)	総合福祉(ゆうあい)センター	・お茶マイスター 佐藤美紀氏 ・ケアリングクラウン 日置 由利江氏	26名・延べ54名 (17名・延べ50名)
8	ボランティア交流会	10月17日(木)	総合福祉(ゆうあい)センター	—	19名 (21名)

3 生活支援サービス活動

福祉用具貸出・相談活動事業

平成5年度より、町内在住で福祉用具を必要とする方に、善意銀行に寄付があった福祉用具(車イスや歩行器等)を中心に基本6ヵ月以内無料(一部物品搬出料の負担あり)で貸出を実施しています。本年度は、福祉用具業者に指導いただき、安全に使用できる物品を見直し在庫の修理等を行うとともに、貸出時に使用安全点検を利用者と共に行うことで用具を安全に使用できる取組を行いました。

貸出件数

(単位:件)

貸出用具	車いす	介護用ベッド	ポータブルトイレ	歩行器	その他(杖・入浴関連)	合計
令和元年度	80	2	16	7	29	134
平成30年度	75	2	17	8	28	130

4 児童家庭福祉(エンゼル)活動

福祉を育む仲間づくり活動・子ども相談・支援活動

①ちびっこボランティア講座

小学生を対象に、障がいのある方やボランティア等とのふれあいを通じて、子ども達が積極的に福祉やボランティアへ関心を持つ契機となることを目的に開催しました。本年度

は、スポーツ関係に興味があるとのアンケート結果からスポーツにまつわる内容として「ブラインドサッカーを通じて視覚障がい者体験」を実施し、視覚障がい者の気持ちを体験し声掛けが大事であると感じてもらえる機会としました。

開催日：12月7日(土) 10:00~12:00
場 所：総合福祉(ゆうあい)センター
内 容：「ブラインドサッカーを体験しよう！～声かけが大切～」
講 師：パラリンピックメダリスト 齋藤 晃司氏
参加者：8名 (平成30年度実績 参加者14名)

②おもちゃ図書館(手作りおもちゃ制作・地域への貸出事業)

ボランティアが制作した手作りおもちゃを、地域の団体や子育て支援グループ・個人への貸出しを行いました。健康福祉まつりや傾聴ボランティア「みみい〜な」による傾聴サロンでも利用してもらいPR活動に努めましたが、地域の子育てサロン1件の休止もあり、貸し出し件数が減少しました。

おもちゃ作りのボランティアの協力により、毎月1回活動し、おもちゃ制作にも積極的に取り組み、男児向けに使用できる既製の木製のおもちゃを追加いたしました。

本年度貸出件数：54件 (平成30年度貸出件数：88件)

(共同募金の地域配分金を活用しています)

5 障害者福祉活動

(1) 啓発活動・団体支援

①イナワイ等の地域交流会啓発活動

平成24年度より、障がいのある方との交流や地域における障害者福祉等への啓発を目的として、当事者のエンパワメントを大切にしながら取り組んでいます。昨年度に引続き“農”から“音楽”へテーマを変え、打楽器「カフォン」の製作から演奏までの指導を受け、参加者全員で交流を図りました。尚、3月は新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため中止しました。(一部共同募金の地域配分金を活用しています)

開催日：1月18日(土)・2月22日(土) 10:00~11:30 計2回
場 所：障害者福祉センターおよび社会福祉会館大ホール
内 容：打楽器「カフォン」の製作・練習・合奏
講 師：中山 拓人氏
参加者：1月18名、2月12名 計30名参加

②セルフヘルプグループの活動支援

セルフヘルプグループ(障害関係4団体)について、諸活動の協力及び活動支援を実施しました。

ア 身体障害者福祉会

イ 身体障害者父母の会

ウ 手をつなぐ育成会

エ ころろ猪名川家族会

(2) ふれあい交流活動

①ふれあい運動会

障がいのある方とその家族、ボランティアが共にスポーツ・レクリエーションを楽しみながら、仲間や生きがいをづくり、「障がい」の壁を乗り越え、お互い理解を深め合い、社会参加の促進と生活の豊かさを広げることを目的として、6月に開催しました。学校等へチラシを配布したことにより、小学生の参加を含めほぼ昨年並みの参加となり、交流が図りました。

開催日：6月22日(土)10:00～13:00 場 所：猪名川町文化体育館（イナホール） 参加者：150名（平成30年度 参加者：150名）
--

②ふれあいバスツアー

障がいのある方とその家族、ボランティア等の方々との交流や仲間づくりを目的に「ふれあいバスツアー」を実施しました。神戸南京町の散策や神戸港ベイクルーズを楽しみながら参加者同士の交流や親睦を図りました。

開催日：5月25日（土） 場 所：神戸南京町・ベイクルーズ 参加者：当事者39名・ボランティア2名・職員6名（平成30年度 参加者32名） （共同募金の地域配分金を活用しています）

③障がい児・者プール教室

障がい児・者がプールでのレクリエーションへの参加機会確保と促進、自立支援及び障がい児・者を地域で支えるきっかけづくりを目的として、障がい児・者を対象としたプール教室を開催しました。

開催日：7月26日（金）、8月2日（金）、8月9日（金）、8月16日（金） 講 師：久保 美弥氏 西田 一二美氏 ボランティア：5名（平成30年度4名） 参加者：13名 延べ人数33名（平成30年度 参加者9名 延べ人数25名）
--

(3) 障害者総合支援法事業

①多機能型事業所「希望の家すばる」運営

ア 就労継続支援B型事業

障がいのある方が自立した日常生活または社会生活を営むことを目的として、就労の機会、生産活動やその他の活動機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力向上のための訓練を行いました。本年度は、新規利用者3名を受け入れましたが、長期欠席者などもあり、延べ利用者数は昨年度とほぼ同じとなりました。また、利用者工賃の支給は、クッキー製造販売・内職作業・町役場等からの受託作業に取り組み、昨年度と同水準を維持しました。

利用人数・実績（決算書 P27 障害福祉サービス等事業収入）

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和元年度	実利用者数	14	15	15	15	16	17	16	16	16	16	16	16		24,000 千円
	延利用者数	245	241	268	273	251	260	294	291	274	244	219	262	3,122	
平成30年度	実利用者数	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15		23,567 千円
	延利用者数	278	290	303	278	277	234	302	285	241	223	195	236	3,142	

工賃支給状況

（単位：円）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
令和元年度	工賃支給額	148,100	98,300	110,600	160,000	173,300	191,500	191,700
	平均個人支給額	10,633	6,553	7,373	11,429	11,553	12,767	11,981
平成30年度	工賃支給額	159,500	132,500	179,200	191,850	157,200	161,300	175,750
	平均個人支給額	10,633	8,833	11,947	12,790	10,480	10,753	11,717
		11月	12月	1月	2月	3月	合計	
令和元年度	工賃支給額	257,000	201,200	134,000	201,100	218,138	2,084,938	
	平均個人支給額	16,062	12,575	9,571	15,469	15,581	11,796	
平成30年度	工賃支給額	192,850	138,450	165,000	183,750	253,099	2,090,449	
	平均個人支給額	12,857	9,230	11,000	12,250	16,873	11,614	

イ 生活介護事業

障がいのある方が自立した日常生活または社会生活を営むことを目的として、入浴、排せつ及び食事等の生活支援、創作活動やレクリエーション等の日中活動の支援を行いました。本年度は、障がい特性を踏まえた支援や配慮について検討を重ね、構造化等の環境整備やプログラムの充実に取り組みました。利用実績は昨年度と比較して延べ利用者数及び実績額ともに大幅に増加しました。

利用人数・実績額（決算書 P27 障害福祉サービス等事業収入）

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和元年度	実利用者数	22	22	22	22	22	22	22	23	23	23	23	23		58,038 千円
	延利用者数	399	379	387	420	367	365	412	403	393	370	372	422	4,689	
平成30年度	実利用者数	19	19	20	20	20	20	20	20	21	21	21	21		47,421 千円
	延利用者数	313	338	346	317	352	290	379	365	358	346	335	340	4,079	

②障害者ホームヘルプサービス事業（居宅介護・重度訪問介護）

障がい（身体・知的・精神）があるため、日常生活を営むことに支障がある障がい者の自宅にヘルパーが訪問し、身体介護（身の回りの支援、食事、入浴、排泄等の介助・介護）、家事援助（調理、洗濯、掃除、買物等の必要な家事）、相談・助言・その他（生活・介護に関する相談）サービスを実施しました。収入については昨年度と大きな差異はなく、家族、相談支援センターや行政等、関係機関と連携を図りながら、個々の障がいに応じた細やかな支援に努めました。

利用人数・実績額（決算書 P27 障害福祉サービス等事業収入）

（単位：人・件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和元年度	実利用者数	8	11	9	9	9	9	9	11	10	13	11	9		4,360 千円
	延利用者数	89	108	95	111	93	103	99	103	89	99	94	90	1,173	
平成30年度	実利用者数	10	10	12	9	10	10	10	11	11	9	10	8		4,348 千円
	延利用者数	107	116	123	103	120	92	105	117	93	91	103	104	1,274	

③地域活動支援センター事業

町内在住の障がい（精神疾患）のある方を対象に、地域の中で自分らしく暮らすことを目的として創作活動プログラムや社会との交流促進プログラムを提供しました。

利用目的としては、一般就労や就労系事業所にステップアップするための生活リズムを整えるため、日中時間を安心して過ごすための居場所として、社会参加の第一歩として他者と交流を図るためなど様々でしたが、それぞれにとって必要な場所となりました。

また、新たな取組みとして活動の中で作った作品を障害者自立支援協議会啓発セミナーで展示し、自分たちの活動を地域の人たちに知ってもらう機会を作りました。

利用人数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	実利用者数	11	11	12	10	9	13	13	13	12	16	12	12	1,303
	延利用者数	122	92	105	122	102	104	126	125	94	102	93	116	
平成30年度	実利用者数	15	14	15	14	15	14	14	15	12	14	13	11	1,396
	延利用者数	120	111	111	102	142	100	140	135	88	110	111	126	

(4) 地域生活支援事業

①障害者療育支援事業

運動面や情緒・知的面などの発達の遅れが心配される児童を対象として、基本的な生活習慣の獲得や社会性の発達、運動機能の維持・向上などを目的とした事業です。障がいのある児童の健全育成の一助として、理学療法、作業療法、言語療法訓練について、専門機関から訓練士の派遣を受けて実施しました。本年度は継続訓練終了後のフォローアップを夏・冬・春の休みの期間に実施し、訓練後の経過観察、保護者のニーズの聞き取りを行いました。作業療法、言語聴覚訓練を並行して利用される方も増えたため、延べ利用者数が増加しました。

利用人数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	実利用者数	55	48	51	51	54	52	56	54	56	51	47	56	1,003
	延利用者数	85	72	87	87	75	86	94	94	81	78	75	89	
平成30年度	実利用者数	52	45	48	43	47	46	51	54	51	26	56	55	916
	延利用者数	81	76	86	73	65	65	87	96	79	39	87	82	

②日中一時支援事業

障がいのある方に、一時的な日中活動の場を確保し、家族の就労支援や介護者の一時的な休息を目的に、必要な生活支援サービスを提供しました。本年度は、様々な利用ニーズに対応すべく受け入れ態勢の強化に取り組んだ結果、昨年度と比較し延べ利用者数は倍増となりました。

利用人数

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	実利用者数	4	5	5	6	4	6	8	6	6	5	5	7	
	延利用者数	12	16	20	28	29	27	45	31	30	23	32	62	355
平成30年度	実利用者数	5	5	4	5	4	3	4	4	5	4	5	3	
	延利用者数	12	16	15	11	9	9	13	16	19	16	20	7	163

③移動支援事業

障がいのある方が、充実した日常生活を営むことができるようガイドヘルパーが付き添い、社会参加に必要な外出時の介助、支援を行いました。ここ数年はガイドヘルパー従事者の確保が難しく、利用ニーズに十分な対応できず、利用実績は昨年度より減少しています。

利用状況

(単位:人・日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	実利用者数	4	3	3	3	2	4	3	3	4	3	3	0	
	延利用日数	5	3	5	5	4	5	5	5	6	6	3	0	52
平成30年度	実利用者数	5	6	4	3	3	2	5	2	2	2	3	2	
	延利用日数	7	9	6	4	6	3	6	5	5	5	6	5	67

④音訳・点訳広報紙

声の広報等発行事業

文字による情報入手の困難な視覚障がいのある方に、音訳ボランティア「リヴィエール」、点訳ボランティア「てんてまり」の協力を得て、町広報・社協だより・議会だより・人権いながわ・選挙公報等の音訳・点訳への編集・発行を行いました。また、本事業のPRチラシ・音訳CDを福祉課の協力のもと視覚障がい者手帳所持者へ発送するなど啓発にも努めました。音訳CDや点訳物は図書館や福祉課等にも配布しています。本年度は、新規の利用者が増え利用者数4名、延べ利用回数で94回となりました。

(平成30年度の利用者数3名、延べ利用回数69回)

(5) 相談支援(就労支援)センターの運営事業

障がいのある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことを目的に相談支援事業を実施しました。

①総合相談支援事業

障害者総合支援法の障害者地域生活支援事業における相談支援事業を町より受託し、相談支援（生活支援・就労支援）を実施しました。障がいのある方や、その家族が安心して地域で暮らせるように、様々な相談に応じて、必要な情報の提供や、障害福祉サービスを利用するための支援を行うほか、権利擁護の為に必要な援助を実施しました。傾向として、精神的なしんどさを抱える方や引きこもり者の相談が増えています。

種別相談等延べ件数（基本相談）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年 30年度	身体	7	31	10	10	8	15	5	8	11	11	7	14	137
	知的	5	5	8	8	7	7	15	8	10	11	9	6	99
	精神	4	14	17	19	16	13	14	12	31	26	21	26	213
	重症心身	1	1	0	0	0	1	0	1	1	1	1	4	11
	発達	4	6	9	15	16	6	6	11	15	12	13	22	135
	高次能	0	0	0	0	3	2	2	3	1	1	5	4	21
	その他	8	19	27	20	11	10	11	7	4	12	13	9	151
合計		29	76	71	72	61	54	53	50	73	74	69	85	767
平成30 年度	身体	11	15	11	12	3	8	14	12	8	3	2	4	103
	知的	6	9	12	8	15	16	11	13	17	6	11	7	131
	精神	28	37	53	30	16	23	16	15	18	6	13	5	260
	重症心身	0	1	0	0	9	11	6	0	4	2	0	0	33
	発達	24	12	29	16	9	10	5	6	8	8	8	6	141
	高次能	0	2	0	1	2	1	2	4	1	1	0	0	14
	その他	6	6	8	5	8	4	4	3	8	8	5	6	71
合計		75	82	113	72	62	73	58	53	64	34	39	28	753

②サービス等利用計画

サービス等利用計画の作成は、福祉サービスを活用し、生活の質を向上させるために作る計画です。障がいのある方（児）が抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けた支援を実施しました。また、その計画が利用者本人にとって適切かどうか、新たな課題はないか定期的な評価を行いました。それぞれの利用者に寄り添ってきめ細かい支援を心掛けたことで実利用者数は増えていませんが、延べ件数は大幅に増えました。

支援状況（決算書 P70 障害福祉サービス等事業収入）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和元年度	実利用者数	36	19	22	17	18	11	32	47	32	32	18	16	300	5,665千円 （延 2,188件）
平成30年度	実利用者数	30	38	23	24	15	17	30	27	47	17	46	21	335	6,291千円 （延 1,782件）

③就労支援業務（就職支援・職場定着支援）

障がいのある方が就労する為の支援や就労が定着する為の支援を実施しました。阪神北障害者就業・生活支援センターやハローワークなどの関係機関と連携しながら就労相談、定着支援を行いました。

④自立支援協議会（専門部会の運営）

猪名川町障害者自立支援協議会の専門部会（生活・就労・教育）事務局として各部会に参加し、障がいのある方（児）が安心して暮らせる町づくりのための課題についての検討を行いました。昨年度に引き続き、就労支援部会では、就労支援の啓発として障害者職業能力開発校の見学を実施しました。

⑤障害支援区分認定調査

猪名川町から調査依頼を受け、サービスの利用を希望する障がいのある方や家族に対して、障がいや生活の状況などについて調査を行いました。

本年度実績 25件（平成30年度実績 43件）

6 高齢者福祉活動

(1) 介護保険事業

① 高齢者デイサービス事業

利用者の心身機能の維持や介護者の介護負担の軽減などを目的として、入浴や食事等の支援を日帰り提供しています。介護予防を目的とした訓練や職員への研修の実施などを行い、新たな利用者の支援につながるよう努めましたが、利用者数の減少、介護度の高い利用者の入所や入院等が重なり昨年度に比べ減収となりました。

利用人数・実績額（決算書 P27 介護保険事業収入）

（単位：人・件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和元年度	実利用者数	72	72	75	73	74	68	70	66	67	67	73	69	52,911 千円	
	延利用者数	608	632	592	628	569	525	585	547	518	532	581	575		6,892
平成30年度	実利用者数	84	83	82	77	79	73	78	76	73	76	76	74	59,404 千円	
	延利用者数	697	739	705	585	658	590	685	666	600	559	597	597		7,678

② 訪問介護事業

要介護者等の在宅生活支援のためホームヘルパーが自宅へ訪問し、食事・入浴・排泄等の支援をする身体介護、掃除、洗濯、調理等の生活援助を行いました。町内居宅介護支援事業所と連絡調整し、利用者の受け入れを可能な限り行いました。

利用人数・実績額（決算書 P27 介護保険事業収入）

（単位：人・件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和元年度	実利用者数	64	64	64	64	61	57	55	59	57	57	58	58	18,696 千円	
	延利用者数	547	627	587	629	516	427	451	450	402	398	431	496		5,961
平成30年度	実利用者数	56	58	61	61	65	63	65	65	61	66	61	60	20,549 千円	
	延利用者数	535	599	566	565	625	539	633	575	494	500	489	507		6,627

(2) 高齢者生活支援事業

① 軽度生活援助事業

日常生活で手助けを必要とする高齢者、障がい者を対象に社会との繋がりを持ちながら安心した生活が送れるよう、外出時の援助、食事・食材確保などの軽度の援助サービスを提供しました。また、介護保険制度の支給限度額超過などで介護保険サービスが保険給付外となる方に対して、本事業を利用いただき日常生活支援を実施しました。これまで利用されていた方の施設入所や介護保険サービスへの移行により、昨年度に比べ減収となりました。

利用人数・実績額（決算書 P34 軽度生活援助事業利用料収入）

（単位：人・件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	実績額
令和 元年度	実利用者数	8	9	7	6	5	4	5	3	4	4	4	4	238	331 千円
	延利用者数	30	39	32	28	27	14	16	9	10	10	11	12		
平成 30 年度	実利用者数	7	6	6	7	9	9	8	8	9	6	7	6	412	645 千円
	延利用者数	39	35	27	26	37	35	43	46	36	31	30	27		

②生きがい活動支援事業

高齢者の生きがいづくり、仲間づくりの支援として猪名川町総合福祉（ゆうあい）センターを中心に運動系・文化系等の教室を開催し、閉じこもり予防の推進に努めました。尚、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため3月実施の教室は中止しました。

教室実施一覧表

教室名	実施時期	実施回数	参加者数
リフレッシュ体操教室	6月～9月	8回	22名
初級水泳教室	6月～7月	5回	9名
水中体操教室	6月～8月	6回	10名
男性のための筋力アップ教室	6月～7月	5回	4名
透明水彩教室	6月～8月	4回	4名
リフレッシュ体操教室	10月～11月	8回	21名
水泳教室	9月～11月	7回	10名
水中体操教室	9月～11月	6回	7名
健康体操教室	9月～11月	6回	19名
レザークラフト&サンドアート教室	9月～11月	6回	5名
皆で歌う人生の思い出ソング教室	9月～11月	6回	25名
リフレッシュ体操教室	12月～2月	6回	26名
水泳教室	12月～2月	5回	11名
水中体操教室	12月～2月	5回	5名
いつもの食材で美味しく料理教室	12月～2月	3回	12名
笑いヨガ教室	12月～2月	5回	22名
元気が出る健康音読教室	12月～2月	3回	21名
計	94回		233名 (延べ1,043名)

平成30年度 実施回数93回 参加者数235名（延べ1,169名）

(3) 地域支援事業

①地域包括支援センター事業

高齢者等が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように、包括的および継続的な支援を行う地域包括ケア推進を目的とし実施しました。地域包括ケアシステムを構築し、かつ有効に機能させるために、保健師等、社会福祉士、主任介護支援専門員がその専門知識や技能を互いに活かしながらチームで活動し、地域住民とともに地域のネットワーク構築に取り組みました。

ア 総合相談（権利擁護含む）

サービス利用に関する初期相談や、虐待、成年後見制度の相談、複合的な課題（高齢者と障がい者の複合世帯、生活困窮とゴミ問題、認知症と独居、精神疾患等）を抱える相談など、民生委員・児童委員や介護サービス事業者、病院の医療相談員等の多岐にわたる団体・機関から受けました。本年度は、認知症若しくはその他の精神疾患による被害妄想により近隣住民間のトラブルとなるケースの相談や、サービス付き高齢者住宅や有料老人ホームへの入居相談が増えました。個別の地域ケア会議等を通じて関係機関や必要に応じて地域住民とも連携を図りながら支援していく機会が増え、昨年度と比べ相談実件数は若干減少しました。

相談件数

(単位：件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和 元年度	実 件 数	68	54	90	92	81	66	93	89	91	91	99	86	1,000
	延 件 数	101	127	149	164	128	102	186	154	179	187	173	169	1,819
平成 30 年度	実 件 数	93	76	93	79	84	65	76	91	86	94	100	117	1,054
	延 件 数	154	148	164	134	155	93	147	166	139	170	160	180	1,810

イ 介護予防ケアマネジメント

要支援1・2の方の介護予防及び日常生活支援を目的として、その心身の状況等に応じて対象者自らの選択に基づき、適切なサービスが実施されるよう援助（相談・ケアプラン作成・サービス調整等）を行いました。本年度は、地域包括支援センターでの担当件数及び居宅介護支援事業所への委託件数が減少しました。

プラン作成件数

(単位:件数)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和元年度	地域包括	117	114	119	121	121	122	121	130	130	127	125	117	1,464
	居宅介護支援事業所へ委託	220	217	214	215	203	211	208	210	207	210	212	209	2,536
合計		337	331	333	336	324	333	329	340	337	337	337	326	4,000
平成30年度	地域包括	129	128	137	135	128	129	134	131	133	129	123	124	1,560
	居宅介護支援事業所へ委託	216	216	221	225	216	216	217	219	212	211	207	212	2,588
合計		345	344	358	360	344	345	351	350	345	340	330	336	4,148

ウ 介護支援専門員（ケアマネジャー）支援

支援困難ケースを抱える介護支援専門員からの相談に随時対応し、必要に応じて共同でケースに関わりました。また、介護支援専門員連絡会やサービス事業所連絡会のサポート役として、企画・運営に参加しました。介護支援専門員の技量向上（スキルアップ）支援や地域とつなぐパイプ役等を担いました。支援にあたり、近年増えたと感じる精神疾患を持つ利用者・家族に対する理解を深めることを目的とした研修会を実施しました。

介護支援専門員連絡会における研修会

<p>開催日：9月19日（木）14：00～16：00</p> <p>場 所：総合福祉（ゆうあい）センター</p> <p>内 容：「成年後見制度についての講演」</p> <p>講 師：木高 壽子氏（権利擁護センターばあとなあ兵庫 社会福祉士）</p> <p>参加者：28名</p>
<p>開催日：11月22日（金）13：00～15：00</p> <p>場 所：総合福祉（ゆうあい）センター</p> <p>内 容：「本人・家族ともに精神疾患があり、アプローチ困難ケースの理解と支援」</p> <p>講 師：立垣 祐子氏（兵庫医療大学看護学部講師）</p> <p>参加者：24名</p>

エ 成年後見相談

成年後見制度の啓発・相談機能の強化のため、予約制で毎月第3金曜日10時から12時に個別相談（2枠、1枠1時間）を実施しました。相談員は、兵庫県社会福祉士会「ばあとなあ兵庫」から派遣され相談件数は10件、主に成年後見制度、申請手続きの方法、財産管理や遺産分割、施設・病院への入所入院関係についての相談でした。また、年2回予定の成年後見制度普及啓発講座を1回実施しました。尚、3月の個別相談と3月7日に予定してい

た成年後見普及啓発講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため中止しました。

成年後見普及啓発講座

開催日：9月14日（土）10：00～12：00
場 所：日生住民センター（日生公民館）
内 容：『教えて！成年後見制度について』
講 師：司法書士 浅田 英範 氏（あさだ事務所）
参加者：20名

②生活支援体制整備事業

介護保険制度改正により始まった介護予防・日常生活支援総合事業のひとつとして、町の委託を受け、生活支援コーディネーターを配置しました。「いつまでも安心して暮らし続けることができる地域づくり」の実現に向けて、公的機関や地域の多様な機関・団体と連携し、ネットワークづくりや住民同士の支えあいの活動支援、構築を目指す事業です。

本年度は地域のニーズ調査として3校区の住民を対象としたアンケートを実施し、調査結果を取りまとめた報告書を作成し、実施した地域に報告を行いました。

介護予防や地域での居場所づくりを目的として、町から委託を受けている健康長寿体操教室のモデル事業、ふれあい・いきいきサロン開設支援等助成事業を実施、これまで開設された体操教室やサロン活動、自主運営している地域の活動紹介及び啓発を目的とする冊子を作成し地域の居場所づくりの啓発活動に努めました。

また、地域での新たな担い手育成として「生活支援サポーター養成研修」を開催、生活支援を行う人材育成に取り組みました。

③認知症高齢者見守り事業

『やすらぎ支援員』（認知症の基礎知識・接遇研修受講者）が、認知症高齢者の自宅を訪問し、見守りや話し相手を通じて『なじみの関係』を作ることで、その方の心身の安定を図り、すこやかな在宅（住み慣れた地域で）生活が送れるように支援するとともに、認知症高齢者を介護する家族の介護負担軽減を図ることを目的として実施しました。

利用実績

	利用者数	利用延べ時間
令和元年度	3名	54時間
平成30年度	4名	63時間

④家族介護支援事業

ア 認知症サポーター養成講座

認知症への正しい理解、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者（認知症サポーター）を増やし、認知症になっても安心して暮らせるまちを地域住民の手でつくることを目指す、全国的な取り組みです。本年度は、認知症サポーター養成講座18回、行方不明者発見・捜索訓練4回開催し、652人の認知症サポーターを養成。講師役のキャラバン・メイトと、猪名川町職員、イオンモール猪名川従業員向けの養成講座と行方不明者発見捜索訓練、小・中・

高校での養成講座、3小学校区での行方不明者発見・捜索訓練などに取り組み、世界アルツハイマーデーに合わせ図書館とのコラボレーション啓発活動、健康福祉まつりでの啓発活動などを実施しました。全小中学校での開催を目指す中、白金小4年、つつじが丘小4年での講座を開催することができました。新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため六瀬中学校での捜索訓練を中止しました。

	開催回数 (回)	サポーター数 (名)
令和元年度	22	652
平成30年度	21	654
平成20年度～累計	162	4,266

イ 家族介護教室

家族や地域住民等の援助者を対象に、介護方法、介護予防、健康づくり等の知識及び技術の習得を目的に開催しました。本年度は、認知症サポーターやキャラバン・メイト、ケアマネジャーのステップアップ研修として参加を呼びかけました。

開催日：2月13日（木）14:00～16:00
場 所：猪名川町社会福祉会館（大ホール）
内 容：『認知症フレンドリー講座～認知症を正しく理解するために～』 本人インタビューやVR（バーチャル・リアリティ）を活用する体験型の講座
講 師：朝日新聞東京本社 総合プロデュース室 伊師学氏、安田富恵氏
参加者：49名

ウ オレンジCafe（認知症カフェ）開設

認知症の方とその家族、地域住民、専門職などが気軽に参加できる場所とし、介護の相談のきっかけや地域とのつながり作りを行いました。

9回開催（日生中央サピエ5回、イオンモール猪名川4回）し、認知症ご本人や介護者の参加も含め、延べ222名が参加されました。誰もが気軽に参加できるよう、毎回ワークショップを同時開催、また地域の専門職の方に協力いただき、出前講座も3回実施しました。

⑤地域介護予防活動支援事業

ア 脳の健康教室モデル及び自主教室運営支援

平成29年度より認知症予防・集いの場の確保・ボランティア活動の場の提供を目的として、「脳の健康教室」を実施しました。本年度はモデル教室として「脳の健康教室 ふらっと六瀬教室」を10月から2月、毎週水曜日10時半から、受講者15名、サポーター18名で実施しました。自主グループとなった日生中央教室（脳トレサロン）、中央公民館教室（楽習サロン“いきいき”）へは、公文教材費の現物支給、会場の提供、運営に関するアドバイス等の支援を行いました。尚、3月開催の教室は、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため中止となりました。

イ 脳健康教室サポーター養成講座

平成 29 年度から開始し、今回 3 期目開催となる「脳健康教室」サポーター養成講座を実施しました。1 日目は公文学習療法センターの方にお越しいただきサポーターの実際を学び、2 日目に楽習（学習）のロールプレイなど、実践に沿った形での講座を行い、3 日目は FPM-α の三好美穂子氏をお招きし「心地よい“関わり”のテクニック～参加者との良好な関係づくり」と題し、コミュニケーションについての講義を行いました。参加者 12 名が新たにサポーターとなり、10 月から開始したふらっと六瀬教室に協力されました。

ウ 健康長寿体操教室運営支援

平成 26 年 10 月より、健康寿命を延ばすために、身近な地域での体操教室が展開されています。本年度には、西畑地区が 3 ヶ月間のモデル事業を実施し、その後自主教室として継続実施されています。教室は現在 18 ヶ所で実施されており、2 月には自主教室を運営している代表の方に集まっていただき、情報交換会を行いました。

健康長寿体操教室一覧

	教室名		教室名
1	若葉いきいき体操教室セカンド	10	北田原すみれ倶楽部体操教室
2	旭ヶ丘健康体操クラブ	11	あこやクラブ健康体操部会
3	いきいき体操松尾台教室	12	つつじが丘健やか体操
4	伏見台チェアトレーニング教室	13	猪名川荘苑健康長寿体操教室
5	パークタウン東体操教室	14	やないづ健勝会健康体操教室
6	猪名川台ちょこっと体操	15	柏原老人クラブ健康体操教室
7	東山いきいき元気倶楽部	16	ふらっと体操教室
8	清水健康体操教室	17	広根健康長寿体操教室
9	若葉いきいき体操教室ファースト	18	西畑体操教室

エ ふれあい・いきいきサロン開設・継続支援

地域の方が支え合い、いつまでもいきいきと安心して暮らせるよう、地域の住民が主体となり身近な場所で交流を深める居場所づくりを立ち上げるための支援を行いました。現在 14 箇所のサロンが活動されており、令和元年度は、新たなサロンの開設はありませんでしたが、7 箇所のサロンから継続支援の申請がありました。

ふれあい・いきいきサロン開設・継続支援状況

	地域名	令和元年度申請状況	平成 30 年度申請状況
1	猪名川荘苑	継続支援	継続支援
2	広根ニューハイツ	申請対象外（自主運営）	申請対象外（自主運営）
3	若葉	継続支援	継続支援
4	旭ヶ丘	継続支援	継続支援
5	島	未申請（自主運営）	未申請（自主運営）
6	伏見台	未申請（自主運営）	継続支援

	地域名	令和元年度申請状況	平成 30 年度申請状況
7	松尾台	未申請（自主運営）	継続支援
8	白金	未申請（自主運営）	未申請（自主運営）
9	猪名川台	継続支援	継続支援
10	つつじが丘	未申請（自主運営）	未申請（自主運営）
11	清水	継続支援	開設支援
12	伏見台	未申請（自主運営）	開設支援
13	杉生	継続支援	開設支援
14	仁頂寺・川向	継続支援	開設支援

⑥認知症初期集中支援促進事業

認知症の方やその家族に対し、早期に関わる体制の構築、支援強化に努めました。看護師、保健師、主任介護支援専門員等が短期集中で当事者への相談支援に関わり、支援チーム員（認知症サポート医、作業療法士、主任介護支援専門員、看護師、保健師）と町福祉課職員で、年間5回のチーム員会議を開催しました。新規2件、終了1件、モニタリング中3件という結果です。新規ケースが少なく、事業啓発として、サポート医の発案もあり事業パンフレットを医師会にて配布することができました。尚、3月のチーム員会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため中止しました。

【最終引継ぎ先】	件数（件）
ケアマネと介護保険制度の利用	2
見守り中、かかりつけ医と連携	1
介護保険未申請	0
入院	0

⑦介護予防普及啓発事業

平成 29 年度より、食を通じた介護予防と健康寿命延伸の啓発活動に取り組んでいます。「すこやか食生活講座」と題して広報を行い、老人会や地域のサロン等にて、講話に加えて試食会または食事会を実施しました（平成 30 年度は 12 地区、14 回、延べ 200 名）。

すこやか食生活講座

日付	団体名	地区	内容	参加人数
4月16日	西畑サロン	西畑	講座&試食会	8
5月25日	仁頂寺・川向サロン	仁頂寺・川向	講座&試食会	1
6月28日	猪名川荘苑サロン（無名月さわやか食事会）	猪名川荘苑	講座&食事会	13
7月23日	清水サロン	清水	講座&食事会	6
8月6日	みどり会（松尾台老人会）	松尾台	講座&食事会	22
11月12日	清水サロン	清水	講座&食事会	6

日付	団体名	地区	内容	参加人数
11月25日	阿古谷まちづくり協議会	阿古谷	講座&食事会	48
11月26日	猪名川町老人クラブ連合会女性委員会		講座&食事会	15
12月7日	仁頂寺・川向サロン	仁頂寺・川向	講座&試食会	10
12月18日	よもぎ料理教室		講座&食事会	7
12月21日	伏見台サロン いっぷく亭	伏見台	講座&食事会	23
1月14日	西畑サロン	西畑	講座&試食会	7
計 9地区/12回				166

外部講師による講演会（平成30年度は計4回、366名）。

日付	講演会	テーマ	講師	開催場所	参加人数
10月26日	いきいき☆フェスタ 健康づくり講演会&体操・体験会	免疫力アップ	渡邊 規子 (猪名川町社協) 井上 澄氏	文化体育館 小ホール	78
11月7日		血流改善	河内 清美氏 (兵庫県栄養士会) 渡辺 紀恵氏	日生公民館	50
11月19日		ながら運動&認知機能アップ	河内 清美氏 (兵庫県栄養士会) 車 智恵子氏	ふらっと六瀬	34
計					162

個別等での相談活動や食事指導（平成30年度は294件、518名）

指導・相談形態	件数(件)	対象人数(名)
家庭訪問指導	30	30
個別相談	9	9
集団指導	8	72
デイサービスにおける食事形態個別対応	131	131
計	178	242

(4) 地域ふれあい事業

①ふれあいの場運営事業

町の補助・支援を得る中、地域の高齢者が孤立することなく、安心して暮らし、世代を超えた地域の交流の場づくりを進める上で、地域住民のつながりの再構築の一助となること

を目的として、「ふれあいの場」運営補助事業を平成 16 年度より実施し、本年度は、若葉自治会より申請があり、運営助成を行いました。

利用実績

	開所日数（日）	延べ利用数（名）	子供利用（名）	高齢者利用（名）	その他（名）
令和元年度	253	3,633	2,389	1,244	0
平成 30 年度	281	4,090	2,956	987	147

②高齢者スポーツ助成事業・文化活動助成事業

町内の高齢者のふれあいと健康促進を目的として、町老人クラブ連合会主催の「グラウンドゴルフ大会」（令和元年 10 月 16 日開催、参加者約 220 名）及び文化活動「演芸発表会」（令和 2 年 2 月 7 日開催、参加者約 200 名）の運営助成を行いました。（本事業は、赤い羽根共同募金配分金により実施しています）

7 福祉学習（教育）啓発活動

福祉教育活動事業

①福祉教育協力校の指定（町内小学校 6 校・中学校 3 校の指定）

地域住民の福祉活動への理解と関心を深めるため、幼少期から高齢期に至るまで生涯を通じて幅広く福祉教育・学習の機会を提供し、体験・交流活動などを推進することを目的とし、助成金を交付しました。

各学校規模に応じ福祉講演会・校区内の高齢者との交流・高齢者疑似体験や車いす体験などの福祉体験を積極的に行われました。

（共同募金の地域配分金を活用しています）

②福祉教材の貸出

福祉教育の推奨を目的に、福祉学習に使用できる物品の貸出を行いました。福祉学習では、高齢者疑似体験や車いす体験・視覚障がい者疑似体験学習時に使用する物品・点字板・障がい者スポーツボッチャなどの貸出を行いました。

③学校・地域等での福祉講演会・体験学習の講師紹介等

「点字学習」「聴覚障がいの学習」については、点訳ボランティア「てんてまり」・手話サークル「マジック」の協力を得て実施しました。

平成 26 年度より実施されている認知症サポーター養成講座は、年々依頼される学校が増えてきています。また、高校での高齢者疑似体験や福祉体験活動も定着しました。

福祉体験学習・講演会等の開催

学校名	開催月	内 容	講 師	対象者	人数
猪名川小学校	6月	車いす体験	社協職員・地域支援ボランティア (5名)	4年生	48名
		高齢者疑似体験	社協職員・地域支援ボランティア (4名)	4年生	48名
	10月	聴覚障がい・手話体験	手話サークル「マジック」(4名)	4年生	49名
		点字の体験とお話	点訳ボランティア「てんてまり」(8名)	4年生	49名
	福祉講演会 (ギター演奏・講話)	小西 達也氏	全校生	340名	
12月	福祉講演会 (車いすバスケット体験・お話)	大内 秀之氏	5・6年生	121名	
楊津小学校	7月	福祉講演会 (ボッチャ体験)	原田 浩明氏	全校生	56名
	10月	認知症キッズサポーター養成講座	キャラバンメイト (8名)	4年生	4名
		点字の体験とお話	点訳ボランティア「てんてまり」(4名)	4年生	4名
	聴覚障がいについてのお話と手話体験	手話サークル「マジック」(3名)	4年生	4名	
11月	①総合福祉(ゆうあい)センターの見学 ②すばる利用者との交流 ③高齢者疑似体験 ④車いす体験	社協職員	4年生	4名	
大島小学校	10月	福祉講演会 (ボッチャ体験)	原田 浩明氏	全校生	52名
	12月	車いす・アイマスク体験	社協職員	5年生	4名
松尾台小学校	10月	福祉講演会 (パラリンピック水泳の金メダリストによるお話)	加藤 作子氏	全校生	268名
	11月	点字の体験とお話	点訳ボランティア「てんてまり」(6名)	4年生	52名
	1月	聴覚障がいについてのお話・手話体験	手話サークル「マジック」(4名)	2年生	50名
白金小学校	5月	聴覚障害についてのお話と手話(ジェスチャー)体験	手話サークル「マジック」(5名)	1年生	84名
	9月	点字の体験とお話	点訳ボランティア「てんてまり」(6名)	4年生	79名

学校名	開催月	内 容	講 師	対象者	人数
白金小学校	10月	車いす・アイマスク体験	社協職員 地域支援ボランティア」 (8名)	4年生	79名
	11月	聴覚障がいについてのお話 と手話体験	手話サークル 「マジック」(4名)	4年生	79名
		認知症キッズサポーター養成講座	キャラバンメイト (25名)	4年生	79名
		高齢者疑似体験	社協職員・地域支援ボランティア (9名)	4年生	79名
つつじが丘小学校	10月	福祉講演会 視覚障がい者・ブラインド サッカーのお話	齋藤 晃司氏	全校生	584名
		認知症キッズサポーター養成講座	キャラバンメイト (28名)	4年生	104名
六瀬中学校	1月	聴覚障がいについてのお話 と手話体験	手話サークル 「マジック」(4名)	3年生	22名
	2月	車いす・高齢者疑似体験	社協職員 地域支援ボランティア (3名)	1年生	14名
	3月	認知症サポーター養成講座	新型コロナウイルスの 流行のため中止となる。	2年生	—
中谷中学校	9月	認知症サポーター養成講座	キャラバンメイト (13名)	1年生	48名
猪名川高校	6月	認知症サポーター養成講座	キャラバンメイト (10名)	教育コミュニケーション類型 3年生	30名
	10月	聴覚障害についてのお話と 手話体験	手話サークル 「マジック」(2名)		30名
		高齢者疑似体験	社協職員 地域支援ボランティア (4名)		30名
延べ利用 人数				2,494名 (167名)	

※ () 人数は、活動したボランティアの人数

④出前講座の実施

地域や学校と“顔の見える関係づくり”を構築し、それぞれのニーズに応じた福祉学習を支援し、福祉に関する関心を高めることを目的に、出前講座を地域包括支援センターが中心に行いました。地域の老人会、福祉委員会等で開催し、加えて地域の事業所専門職員等と地域住民の会おう場づくりを目的に、町内外事業所に出前講座講師登録の依頼を行い、全 31 回開催うち 11 講座の講師依頼を行いました。尚、3 月の講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため中止しました。

出前講座開催実績

	開催日	テーマ	参加者数	主催団体/開催場所	講師 地域事業所 /専門職員
1	4月13日	特殊詐欺等	34名	紫合紫友会 紫合公会堂	川西警察（生活安全課）、 町消費生活相談員
2	4月18日	認知症って？	20名	白金ほっとサロン絆 白金まち協会館	地域包括支援センター
3	5月17日	認知症とは？	6名	猪名川友の会 ゆうあいセンター	地域包括支援センター
4	5月24日	コミュニケーション 麻雀	13名	東山クラブ 東山自治会館	生活支援コーディネーター
5	5月30日	転倒しない体づくり	5名	白金県住プチサロン 白金県住集会所	レイス治療院 /マッサージ指圧師
6	6月12日	介護保険の訪問系サービスについて、脳トレ	53名	若葉むつみ会 レックスパーク集会所	地域包括支援センター
7	6月21日	脳トレ	4名	銀山老人会 銀山公会堂	地域包括支援センター
8	6月23日	介護保険の基本の「き」	23名	若葉絆の輪 若葉自治会館	地域包括支援センター
9	6月27日	認知症予防	8名	旭ヶ丘体操クラブ 旭ヶ丘自治会館	地域包括支援センター
10	6月27日	転倒予防と薬	13名	杉生老人クラブ 杉生自治会館	しろがね薬局 /薬剤師
11	7月1日	熱中症対策、簡単体操	11名	西畑老人会 西畑自治会館	天河草子 /柔道整復師
12	7月4日	お薬について	18名	NPO 在宅ケアを考える 会カフェ・ユニバサピエギャラリー	しろがね薬局 /薬剤師
13	7月25日	閉じこもり予防・うつ予防	7名	白金県住プチサロン 県住集会所	地域包括支援センター

	開催日	テーマ	参加者数	主催団体/開催場所	講師 地域事業所 ／専門職員
14	9月11日	脳トレ	44名	若葉むつみ会 レックスパーク集会所	地域包括支援センター
15	9月26日	介護保険制度について	18名	年金者組合 中央公民館	地域包括支援センター
16	9月29日	転ばない体づくりをしましょう	21名	若葉絆の輪 若葉自治会館	地域包括支援センター
17	10月1日	絆創膏の使い分け、湿布薬の貼り方	11名	西畑老人会 西畑自治会館	祐徳薬品 ／営業職
18	10月8日	介護保険申請、福祉用具レンタル、購入等	20名	広根老人会 広根自治会館	福祉用具 ひまわり
19	10月10日	健康管理と大切にしたい事	23名	NPO 在宅ケアを考える 会カフェ・ユニバ サピエギャラリー	訪問看護ステーションせいふう猪名川 ／看護師
20	10月20日	介護保険制度とその他の福祉	18名	旭ヶ丘コスモスクラブ ゆうあいセンター	地域包括支援センター
21	10月23日	高齢者施設について学ぼう！	8名	杉生老人クラブ 杉生自治会館	あんすまサポート／営業職
22	10月28日	介護保険制度について	12名	内馬場老人会 内馬場自治会館	地域包括支援センター
23	11月8日	転倒骨折予防～栄養と運動実技～	8名	猪名川友の会 ゆうあいセンター	社協管理栄養士、地域包括支援センター
24	11月27日	冬を元気に乗り越えましょう！	6名	銀山老人会 銀山公会堂	地域包括支援センター
25	12月13日	教えて、介護保険	31名	地区老人クラブ会長会 ゆうあいセンター	地域包括支援センター
26	12月19日	脳トレ	23名	白金ほっとサロン絆 白金まち協会館	地域包括支援センター
27	12月22日	高齢者施設について学ぼう！	19名	若葉絆の輪 若葉自治会館	あんすまサポート／営業職
28	1月9日	介護保険で利用できる福祉用具	8名	NPO 在宅ケアを考える 会カフェ・ユニバ サピエギャラリー	福祉用具 ひまわり
29	1月22日	脳トレ	20名	柏原 サロンあじさい 柏原自治会館	地域包括支援センター
30	2月21日	薬について	27名	若葉熟年クラブ 若葉自治会館	いながわ薬局 ／薬剤師

	開催日	テーマ	参加者数	主催団体/開催場所	講師 地域事業所 /専門職員
31	2月27日	元気に歳を重ねましょう！	7名	白金県住プチサロン 県住集会所	地域包括支援センター
合計			延べ539名/19団体/全31回 (平成30年度 延べ662名/17団体/全25回)		地域包括18回 社協2回 事業所11回 警察1回

⑤福祉学習を考える集いの開催

学校や地域での福祉学習では、自ら学び考える「生きる力」を育むことを目的に様々な形で実践され、基本的な考え方や、学校や地域で身近にできる福祉学習の取り組み方を学び、猪名川町の福祉学習がより充実したものとなることを目的に実施しました。本年度は、「児童福祉の観点からこどもの取り巻く状況や貧困や虐待から見る関係機関との連携」について先生同士で考え、交流する機会となりました。

開催日：8月9日(金)10:00～12:00
場 所：総合福祉（ゆうあい）センター 研修室
参加者：小・中学校教員及び学校関係者 計12名
内 容：「現代の家庭と子ども家庭福祉」
講 師：関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科 教授 前橋 信和氏

⑥トライやるウィークへの協力

兵庫県教育委員会では、県下の公立中学校2年生全員が、地域社会で体験活動を行う週間を設定し、学校・家庭・地域社会が一体となり体験活動を通して、中学生の心の教育を図る目的で、平成10年度より「地域に学ぶトライやる・ウィーク」が実施され、本年度は2校6名を受け入れました。

受け入れ状況

(単位：人)

受入期間	学校名	受入人数 (30年度)
5月13日～5月17日	中谷中学校	2(2)
5月20日～5月24日	猪名川中学校	4(2)

8 調査・情報活動

啓発・情報活動事業

社会福祉協議会の役割や活動を周知し、福祉活動への参加を促進するため、地域住民やボランティアと一体となった福祉啓発イベントの運営や社協だより、ホームページ掲載内容の充実に努め、タイムリーな情報提供等、福祉情報について広報活動に取り組みました。

①社協だよりの発行

機関紙である「社協だより」を5月、7月、10月、1月の年4回（1回12,000部）発行し、全世帯に配布しました。掲載内容の充実と、読みやすい紙面への工夫を行いました。

(共同募金の地域配分金を活用しています)

②ホームページの充実

ホームページにて福祉情報の発信や社協活動のPRに努めました。特に社協開催の講座の周知を図り、受講者の増加に努めました。

③町広報との連携

講座等の案内は、町広報とも連携し、毎月数件の情報を「広報いながわ」へ掲載しています。また、「いなぼうネット」での案内も実施しました。

④社協リーフレット・パンフレット作成

各事業等にて講座等のチラシを作成するとともに、社協会費のリーフレットを作成し、社協事業等の案内を行いました。作成したチラシ等は、ホームページでアップするとともに、「ふれあい伝言板」(役場、図書館、ふらっと六瀬、日生連絡所に設置)にて福祉情報の発信や社協活動のPRに努めました。

⑤健康福祉まつりでの啓発活動

だれもが健康で、安心して暮らせる地域社会をめざして、住民相互の理解と交流を深め、地域福祉の担い手である住民の方々に地域や社会に参加してもらうきっかけづくりになることを目的として、地域福祉の推進の啓発に取り組みました。

本年度は、認知症疑似体験では、映像を通して認知症の症状を自分のこととして体験し、普段どのようなことで困っているのか、当事者の視点に立って考えていただくことにより、認知症の方への理解などを深めてもらうことで、今後の地域でのボランティア活動や地域福祉などへの認識を持っていただくきっかけ作りとしました。

また、おもちゃ図書館のコーナーも設置し、手作りおもちゃの啓発及び、手作りおもちゃボランティアと来場者とが交流する良い機会となりました。

(共同募金の地域配分金を活用しています)

9 組織基盤づくり活動

(1) 組織・基盤づくり活動事業

社会福祉法等の関係法令を遵守し、地域から信頼され、事業運営の透明性を確保しながら、より適正で効率的な法人運営に取り組みました。しかし、特に3月は新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため、会議等の開催は控え、書面等による審議・議決となりました。

①定款・諸規程等の整備・改廃

本年度における理事会及び評議員会の開催、諸規程等の制定及び一部改正議案については、本報告書「12 諸会議」を参照。

②地域福祉推進計画の策定と評価

令和2年度～6年度までの5ヶ年に亘る第7次猪名川町地域福祉推進計画について、各種団体ヒアリング・住民アンケート(町実施)等からのニーズ把握、策定委員会での審議(計4回)、パブリックコメントを経て策定しました。

また第6次地域福祉推進計画に基づき実施する事業・活動について、5年目の各事業の評価、現状と課題（評価）及び次年度の目標については新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため書面による報告・審議を行いました。

③猪名川町社協職員災害時行動の手引きに基づく研修・訓練

職員の入退職ごとに災害時連絡網の更新を実施し、年2回、緊急連絡伝達訓練を実施しました。

④役員・職員研修の充実

サービスの質の向上を目的として派遣研修、事業所内研修等を織り交ぜながら実施しました。職員全体研修では接遇マナー研修や救急救命講習など計4回実施。（平成30年度計5回実施）各事業所においても専門性の向上を目指し、各種外部研修へ参加、フィードバックを行いました。

(2) 自主財源促進活動事業

社協会員の増強

地域福祉の充実と社協基盤の確立を図るための財源となり、各自治会を通じ啓発を行い会員の加入促進に努めました。本年度は、自治会での会費納入方法（各自治会の会費予算化され自治会会計から定額一括納入）が変わるなどの影響もあり厳しい状況となりました。

会員会費の納入状況（決算書 P14 会費収入）

（単位：円）

会員の種類	会費額	令和元年度		平成30年度	
		金額	摘要	金額	摘要
一般会員	500	2,398,360	49自治会	2,477,939	49自治会
賛助会員	5,000	230,000	42事業所	255,000	48事業所
団体会員	5,000	10,000	2団体	10,000	2団体
計		2,638,360		2,742,939	

(3) 共同募金運動への協力事業

①赤い羽根共同募金活動

兵庫県共同募金会猪名川町共同募金委員会として募金活動を実施しました。本年度は、住民の方に地域福祉活動を知っていただくため、きっかけづくりを重視した活動を町全体の取組みとしました。町内49自治会、学校、法人、民生委員・児童委員、猪名川町職員、福祉団体等の多くの方々の協力を得ることができました。

また、1月から3月を期間拡大募金と位置付け、募金箱の設置、町老人クラブ連合会主催イベント内での募金啓発活動を実施しました。

募金実績（期間拡大募金実績含む）

	目標額（円）	実績額（円）	達成率
令和元年度	2,322,000	2,097,811	90.3%
平成30年度	2,326,000	2,199,241	94.6%

募金別実績額（期間拡大募金実績含む）

（単位：円）

募金方法	金額	募金方法	金額
戸別募金	1,320,778	学校募金	112,910
街頭募金	61,694	イベント募金	13,810
法人募金	295,350	その他（募金箱）	5,819
職域募金	287,450	-	-
合計		合計	2,097,811

②歳末たすけあい運動の実施

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする方々が地域で安心して暮らすことができる一助として、「つながる ささえあう みんなの地域づくり」のスローガンのもと12月1日から12月31日の間、運動に協力しました。

募金実績

（単位：円）

NO	区分	金額	備考
1	戸別募金	664,349	
2	街頭募金	46,723	12/1 イオン猪名川 12/2 日生中央駅 12/7 日生サピエ 12/8 道の駅
3	募金箱	18,608	
4	預金利子	0	
5	前年度繰越金	117,903	
合計		847,583	

配分内訳

（単位：円・件）

NO	配分先	配分金額	見舞金	件数	備考
1	生活困窮世帯	60,000	10,000	6	相談支援等より
2	準要保護世帯（基本額）	350,000	5,000	70	教育委員会より
3	準要保護世帯（2人目以降）	114,000	3,000	38	
4	繰出金	18,000	0	0	歳末募金事務費へ繰出
5	次年度繰越金	305,583	0	0	
合計		847,583		114	

(4) 善意銀行の運営事業

住民や団体等から福祉向上のため預託される金品・物品等貴重な浄財を、必要な人々や団体の福祉活動に役立てるよう運用を行いました。

①運営委員会による適正な運営

運営委員会を開催し、善意銀行の適正な運用について協議・報告を行うところ、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面での報告を行いました。

②金銭・物品の預託と払出（決算書 P33 寄付金収入/P36 一般・指定払出支出）

種類	預託内容	金額等	備考	払出内容	金額等	備考
金銭	一般	325,000 円	10 件	一般	330,000 円	・摂丹地区里親会 ・ひょうご子ども家庭福祉財団 ・特定非営利活動法人フードバンク関西 ・緊急払出し 1 件 ・歳末助け合い運動配分 6 件 ・地域サロン助成 7 件
	指定	266,903 円	4 件	指定	330,000 円	・地域福祉活動への指定 2 件
	合計	591,903 円		合計	660,000 円	
物品	福祉用具	5 件	・歩行器 ・ポータブルトイレ ・シャワーチェア	福祉用具	3 件	町内福祉施設などへ払出し
	その他	28 件	・米 (30 ㌔×2) ・衣類、オムツ類 ・ふきとり布 ・手芸用品 ・日用品、石鹸 ・マッサージチェア	福祉用品、その他	30 件	
	合計	47 件		合計	47 件	

③地域支援事業実施団体への助成

ふれあい・いきいきサロン継続支援助成として、町が認めた 7 団体に対して助成金（1 団体につき 25,000 円）の交付を実施しました。

助成実績

団体名			
1	旭ヶ丘にこにこサロン	5	若葉生き生きサロン「スマイル」
2	仁頂寺・川向ハートフルサロン	6	猪名川台あそぼう会
3	杉生いきいきサロン	7	清水ふれあいサロン
4	猪名川荘苑ほっとサロン		

10 団体支援活動

福祉団体の支援事業

福祉関係団体の自主的活動に向けて、事務局として各当事者団体の活性化と活動の充実に向け団体活動の継続的支援に取り組ましました。

- ①民生委員児童委員協議会 ②老人クラブ連合会 ③遺族会
④身体障害者福祉会 ⑤身体障害者父母の会 ⑥手をつなぐ育成会
⑦こころ猪名川家族会

1 1 町指定管理事業

猪名川町総合福祉センターの管理・運営事業

総合福祉センターでは、高齢者等の生きがい・健康活動の場として、広く利用の促進を図りました。また、町から総合福祉センターの指定管理者の指定を受け、同センターの施設利用や維持管理の業務を行いました。本年度、新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため3月10日よりセンター利用休止の措置となりましたが昨年度利用実績を上回りました。（30年度は給湯配管の更新工事のため一部利用休止期間が発生）利用状況及び改修工事の状況等については、次のとおりとなりました。

①利用状況一覧表

(単位：件・人)

		一般浴室	室内プール	教養 娯楽室	研修室	ドーム	合計
令和 元年度	件数	45,059	4,877	442	235	1,293	51,906
	人数	45,059	4,877	4,853	3,515	10,012	68,316
平成 30年度	件数	40,899	4,725	420	231	1,414	47,689
	人数	40,899	4,725	4,694	3,475	11,177	64,970

※令和2年3月4日～ 室内プール休止（設備不良のため）

※ 〃 3月8日～ 一般浴室休止（新型コロナウイルス感染拡大防止対応）

※ 〃 3月10日～教養娯楽室・研修室・ドーム休止（新型コロナウイルス感染拡大防止対応）

②施設修繕一覧表（決算書 P71 修繕費支出）

(単位：円)

実施時期	修繕工事内容	金額
6月	福祉センター1階厨房排水設備漏水一時応急対応	54,000
8月	福祉センター中央監視リモートユニット更新	999,000
9月	福祉センター1階浴室グレーチング更新	136,512
	総合福祉センタードーム前時計ポール撤去	189,000
	障害者センターインターフォン設置	934,200
10月	福祉センター1階室内プールシャワー空冷チラー部品交換	160,920
	福祉センター1階浴室（泡風呂）脱衣室ファンコイルユニット漏水一時応急対応	23,760
	福祉センター1階室内プール脱衣室ロッカー固定	22,550
11月	福祉センター1階浴室（岩風呂）扉部品交換・調整	92,202

実施時期	修繕工事内容	金額
12月	ワイアレスアンプ修理	60,500
	福祉センター1階室内プール系統給湯不良一時応急対応	41,800
1月	福祉センター1階玄関ロビー天井埋込照明器具更新	44,000
2月	福祉センター1階図書コーナー自動血圧計修理	50,050
	福祉センター1階浴室（泡風呂）脱衣室ファンコイルユニット部品交換及び消防設備誘導灯更新	335,500
3月	福祉センター1階食堂給茶機修理	15,290
	中央リモートユニット更新	1,320,000
	福祉センター1階厨房排水漏水対応	27,500
計		4,506,784

1.2 諸会議

以下、法人運営に係る諸会議について報告します。

①理事会開催状況

(理事定数9名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容	
R1.6.5	理事会 (1回)	総合福祉センター	議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 出席状況 採決状況	平成30年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について 平成30年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について 理事・監事候補者について 令和元年度第1回評議員会の招集日時、場所、議題等について 理事8名 監事1名 第1号～第4号すべて議決
R1.6.20	理事会 (2回)	総合福祉センター	議案第5号 議案第6号 議案第7号 出席状況 採決状況	会長の選任について 副会長の選任について 常務理事の選任について 理事8名 監事2名 第5号～第7号すべて議決
R1.7.12	理事会	理事会開催の決議の省略(一般社団法人及び一般社団法人に関する法律第96条)	議案第8号 採決状況	猪名川町社会福祉協議会地域福祉推進計画策定委員会要綱の制定について 第8号議決
R1.8.8	理事会 (3回)	総合福祉センター	議案第9号 議案第10号 議案第11号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会評議員の候補者について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会理事の候補者について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会委員の選任について

年月日	会議名	場 所	内 容	
			議案第12号 出席状況 採決状況	令和元年度第2回評議員会の招集日時、場所、議題等について 理事7名 監事1名 第9号～第12号すべて議決
R1. 8. 22	理事会 (4回)	総合福祉センター	議案第13号 出席状況 採決状況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会常務理事の選任について 理事8名 監事1名 第13号議決
R1. 9. 27	理事会 (5回)	総合福祉センター	議案第14号 議案第15号 議案第16号 出席状況 採決状況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事務局組織規程の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事務局処務規程の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会多機能型事業所「希望の家すばる」運営規程（生活介護、就労継続支援B型）の一部改正について 理事7名 監事1名 第14号～第16号すべて議決
R1. 12. 9	理事会	理事会開催の決議の省略(一般社団法人及び一般社団法人に関する法律第96条)	議案第17号 採決状況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について 第17号議決
R2. 1. 31	理事会 (6回)	総合福祉センター	議案第18号 議案第19号 出席状況 採決状況	令和元年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第1号)について 令和元年度第3回評議員会の招集日時、場所、議題等について 理事9名 監事1名 第18号～第19号すべて議決
R2. 3. 23	理事会	理事会の決議の省略(一般社団法人及び一般社団法人に関する法律第96条)	議案第20号 議案第21号 議案第22号 議案第23号 議案第24号 議案第25号	令和2年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業計画について 令和2年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出予算について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員等の報酬等に関する規程の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会会長報酬等に関する規程の制定について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会嘱託職員の雇用に関する要綱の一部改正について

年月日	会議名	場 所	内 容	
			議案第26号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会臨時職員の雇用に関する要綱の一部改正について
			議案第27号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について
			議案第28号	猪名川町ボランティア活動センター設置規程の一部改正について
			議案第29号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会日常生活自立支援事業における日常的金銭管理サービス等に係る代理取扱要綱の制定について
			議案第30号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会日常生活自立支援事業における日常的金銭管理サービス等に係る代行取扱要綱の制定について
			議案第31号	令和元年度第4回評議員会の招集日時、場所、議題等について
			採決状況	第20号～第31号すべて議決

②監事会開催状況

(監事定数2名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容	
R1. 5. 28	監査	総合福祉センター	平成30年度事業報告・収入支出決算監査 監事2名出席	

③評議員会開催状況

(評議員定数17名以内)

年月日	会議名	場 所	内 容	
R1. 6. 20	評議員会 (1回)	総合福祉センター	議案第1号	平成30年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会事業報告について
			議案第2号	平成30年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会収入支出決算について
			議案第3号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会理事・監事の選任について
			出席状況	評議員12名 理事3名 監事2名
			採決状況	第1号～第3号すべて議決
R1. 8. 22	評議員会 (2回)	総合福祉センター	議案第4号	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会理事の選任について
			出席状況	評議員13名 理事2名 監事1名
			採決状況	第4号議決
R2. 2. 7	評議員会 (3回)	総合福祉センター	議案第5号	令和元年度社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会補正予算(第1号)について
			出席状況	評議員13名 理事3名 監事1名
			採決状況	第5号議決

年月日	会議名	場 所	内 容	
R2. 3. 31	評議員 会	評議員会の決議の 省略(一般社団法 人及び一般社団法 人に関する法律第 194条)	議案第 6 号 議案第 7 号 議案第 8 号 議案第 9 号 採 決 状 況	令和 2 年度社会福祉法人猪名川町社 会福祉協議会事業計画について 令和 2 年度社会福祉法人猪名川町社 会福祉協議会収入支出予算について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会役員等の報酬等に関する規程の一 部改正について 社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会会長報酬等に関する規程の制定に ついて 第 6 号～第 9 号すべて議決

④評議員選任・解任委員会

(委員定数 5 名)

年月日	会議名	場 所	内 容	
R1. 8. 9	委員会 (1 回)	総合福祉センター	議案第 1 号 出 席 状 況 採 決 状 況	社会福祉法人猪名川町社会福祉協議 会評議員推薦候補者の選任について 委員 5 名 第 1 号議決

Ⅲ 役員の状況

社会福祉法人猪名川町社会福祉協議会役員の状況（令和2年3月31日現在）

① 理事（定員7名以上9名以内）

（任期 令和元年6月20日～令和2年度に関する定時評議員会の終結時まで）

※順不同

会長	鍋谷 將
副会長	村山 興治
理事	畑中 祥宏
〃	坂田 哲啓
〃	平井 邦子
〃	喜多 護
〃	北上 倫聖
〃	井ノ上 利昭
常務理事	飯田 勝美

② 監事（定員2名以内）

（任期 令和元年6月20日～令和2年度に関する定時評議員会の終結時まで）

監事	家門 正幸
監事	今村 恵子

③ 評議員（定員14名以上17名以内）

（任期 平成29年4月1日から選任後4年以内の終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結時まで）

※順不同

評議員	堀口 初恵	評議員	住野 満
〃	宮本 浜子	〃	太田 はるよ
〃	北中 昭夫	〃	安藤 邦美
〃	戸田 絹代	〃	鈴木 裕治
〃	端野 久美子	〃	中元 進
〃	高岡 美津子	〃	伊藤 茂子
〃	安達 隆	〃	板橋 汎子
〃	今泉 友幸	〃	関口 捷子
〃	石井 誠		